

幼児教育学科 1年 前期 総合科目

1. 地域つくりかえ学
2. キャリアデザイン論
3. ICTベーシック
4. English Base

幼児教育学科

科目名: 地域づくりかえ学			担当教員 氏名: とりまとめ:宮城(社会福祉学科)、岡野(幼児教育学科)、米山(看護学科)ほか			
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 前期	総合科目	講義	必修	保育士資格指定科目(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。				
E 自己管理能力		地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。				
G 倫理観		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。				
F チームワーク・リーダーシップ		【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。				
C 論理的思考力		【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート: 70 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %	
特記事項: AD教員が、AD学生の評価にあたる。最終レポート「つくりかえレポート」100点+「週フォリオ」各100点の平均点をレポート評価とする。その他30%は「自分づくりをすすめる意欲・態度」で評価する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 単元ごとに学びを振り返る「週フォリオ」を課す。「つくりかえレポート」は第10回終了後に課す。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜AD面談等を行い、返却する。						
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)			
			学修内容	学修に必要な時間(分)		
①【藻谷】富山福祉短期大学で学ぶ意義			【復習】振り返りレポート	60分		
②【中村】ボランティア活動、社会貢献			【復習】振り返りレポート	60分		
③【宮城、岡野、米山】フォトロゲイニング“ふくたんを探検”			【復習】振り返りレポート	60分		
④【竹ノ山】学修可視化ツール: ふくたんICEマトリックス、週フォリオ			【復習】振り返りレポート	60分		
⑤【松尾】地域課題発見力とは			【復習】振り返りレポート	60分		
⑥【斎藤望】アカデミックスキルズ① 大学の学び方(学び方を学ぶ)			【復習】振り返りレポート	60分		
⑦【宮嶋】アカデミックスキルズ② レポートの書き方			【復習】振り返りレポート	60分		
⑧【高橋】アカデミックスキルズ③ 効果的なプレゼンテーション			【復習】振り返りレポート	60分		
⑨【石津】アカデミックスキルズ④ 協働力向上: グループワークの極意			【復習】振り返りレポート	60分		
⑩【宮越】コーチング			【復習】振り返りレポート	60分		
⑪【岡野】保育場面における気を付けたいマナー			【復習】振り返りレポート	60分		
⑫【清水】保育者に必要な基本スキル			【復習】振り返りレポート	60分		
⑬【高橋】保育学生に求められるコミュニケーションと表現力			【復習】振り返りレポート	60分		
⑭【泉】るコミュニケーションスキルを高めるレクリエーション			【復習】振り返りレポート	60分		
⑮【学科】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ			【復習】振り返りレポート	60分		
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						

幼児教育学科

科目名： キャリアデザイン論			担当教員 氏名： 島田 勝彰			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			ワーク&対話を主とした授業を実施します。			
授業科目の学修教育目標の概要：					キーワード	
社会のニーズを把握し、自分の実現したいキャリアについて主体的に考えることを通して、自分自身の将来(就職)についてポジティブかつ明確な方向性を見出せる。また、自身の今後のビジョンについて、キャリアを絡めプレゼンテーションすることができる。					キャリア・オーナーシップ 社会人基礎力(基礎教養) 自分らしい職業選択	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
C 論理的思考力	自身のキャリアについて、個人的な背景や社会的な背景から考察できるようになる。					
F チームワーク・リーダーシップ	グループワーク実践を通じて、他者との対話ができるようになる。					
G 倫理観	社会人としてどのように職業選択をすることが正しいかを理解する。					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 0 %	レポート： 40 %	発表： 36 %	実技試験： 0 %	その他： 24 %		
特記事項：その他は原則出席回数となります。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：期末プレゼンテーション、中間レポートを実施。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
① イントロダクション(講師紹介・講義概要等)				講義	90分	
② キャリアオーナーシップについて考える				講義・グループワーク	90分	
③ 社会人基礎力について考える				講義・グループワーク	90分	
④ 私が大切にしている価値観について考える				グループワーク・レポート	90分	
⑤ キャリア形成支援(自己分析)				講義・グループワーク	90分	
⑤ キャリア形成支援(業界分析)				講義・グループワーク	90分	
⑦ キャリアビジョン・将来設計				講義・グループワーク	90分	
⑧ プレゼンテーション(私の職業選択と自己実現)				プレゼンテーション	90分	
使用テキスト：講師側で準備				その他参考文献など：		
4週目終了後に、中間課題(レポート)があります。						

幼児教育学科

科目名: ICTベーシック			担当教員 氏名: 一ノ瀬 伊通子						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード			
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進んでいる。また幼児教育の現場でも、園児記録や保護者通信などで、コンピュータを活用する場面が増えてきた。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。						コンピュータ、ネットワーク、 ソフトウェア、ワード、パワーポイント、 情報セキュリティ			
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力			・コンピュータ、ネットワークの基本知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows10の基本知識を学習する。						
D 問題解決力			・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」の基本操作を修得する。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。またグループワークによる成果物を数回提出する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。またグループワークによる成果物については、グループでの関わり方の結果を伝える。									
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)					
				学修内容	学修に必要な時間(分)				
① 情報化社会の現状とセキュリティの基本知識の理解				情報化社会の現状と課題について調べる	【予習】30分 【復習】30分				
② ビジネスメールの作成とマナーの理解				ビジネスシーンとメールの活用	【予習】30分 【復習】30分				
③ Wordによる文書作成(基本的な機能)の習得				Wordの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分				
④ Wordによる文書作成(実用的な機能)の習得				Wordの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分				
⑤ グループによるドキュメント制作				GoogleWorkspaceのアプリ「ドキュメント」の活用	【予習】30分 【復習】30分				
⑥ プレゼンテーション技法とPowerpointによるスライド作成(基本的な機能)の習得				PowerPointの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分				
⑦ Powerpointによるスライド作成(表、グラフの挿入、アニメーションの活用)				PowerPointの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分				
⑧ グループワークによる発表スライドの制作				GoogleWorkspaceのアプリ「スライド」の活用	【予習】30分 【復習】30分				
⑨									
⑩									
⑪									
⑫									
⑬									
⑭									
⑮									
使用テキスト: <電子書籍(ManaMo)>イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Office2016対応				その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。グループでドキュメント制作をするので、チームワークのスキルを磨くこと。									

幼児教育学科

科目名: English Base			担当教員 氏名: リュウ エドワード			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						A native Japanese and native English speaker will implement interactive classes to use and develop basic understanding of English as L2 with language and contextual support in student's L1.
授業科目の学修教育目標の概要:						キーワード
The objective of this core English course is to develop functional ability and core understandings in the English language, with a focus on leveraging technologies for language access. The course covers essential skills such as grammar, vocabulary, listening, and discussion. The syllabus is tailored to enhance students' capacity to communicate in English across various everyday scenarios and practical applications, incorporating technology as a key tool in this process. Furthermore, the course seeks to cultivate an appreciation for the cultural nuances of the English language.						Basic English Communication Skills Basic Grammar Skills Technology Integration in Language Learning
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力	Knowledge of core English concepts will allow students to make statements about themselves, recall events and express intentionality.					
F チームワーク・リーダーシップ	Small groups are integral in facilitating understanding, expressing personal perspectives on select topics, and reflecting on subject-specific content.					
H コミュニケーション力	Communicating clearly is important whether you are communicating with your boss, a colleague, a teacher, or a friend. In language learning unclear, vague communication can lead to misunderstandings. This course will address contextually appropriate tone and register for communication.					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク		
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストとインタビューのフィードバックは、個別に指導する。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①Unit 1: Talking about yourself, Unit 2: Talking about routines, Unit 3: Today I'm wearing...				対象Unitの予習・復習	90分	
② Unit 4: What's happening?, Unit 5: Types of verbs, Unit 6: Vocabulary				対象Unitの予習・復習	90分	
③Unit 7: How are you feeling?, Unit 8: Vocabulary, Unit 9: Routines and exceptions				対象Unitの予習・復習	90分	
④ Unit 10: Vocabulary, Unit 11: What's the matter?, Unit 12: Vocabulary				対象Unitの予習・復習	90分	
⑤ Unit 13: What's the weather like? Unit 14: Vocabulary, Unit 15: Making comparisons				対象Unitの予習・復習	90分	
⑥ Unit 16: Talking about extremes, Unit 17: Vocabulary, Unit 18: Making choices				対象Unitの予習・復習	90分	
⑦ Unit 19: Using large numbers, Unit 20: Vocabulary, Unit 21: Talking about dates				対象Unitの予習・復習	90分	
⑧ Review				全体の復習	90分	
⑨ Unit 22: Talking about the past, Unit 23: Past events, Unit 24: Past abilities				対象Unitの予習・復習	90分	
⑩ Unit 25: Vocabulary, Unit 26: Irregular past verbs, Unit 27: Vocabulary				対象Unitの予習・復習	90分	
⑪ Unit 28: Telling a story, Unit 29: Asking about the past, Unit 30: Applying for a job				対象Unitの予習・復習	90分	
⑫ Unit 31: Types of questions, Unit 32: Someone, anyone, everyone, Unit 33: Making conversation				対象Unitの予習・復習	90分	
⑬ Unit 34: Vocabulary, Unit 36: Plans and intentions, Unit 37: What's going to happen				対象Unitの予習・復習	90分	
⑭ Unit 38: Vocabulary, Unit 39: Making predictions, Unit 40: Making quick decisions				対象Unitの予習・復習	90分	
⑮ Final Review				全体の復習	90分	
使用テキスト:				その他参考文献など: ・English for Everyone: Level 2: Beginner, Practice Book: A Complete Self-Study Program ・English for Everyone: English Grammar Guide: A Comprehensive Visual Reference ・English for Everyone Grammar Guide Practice Book		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Making mistakes and expressing yourself is the best way to discover and explore language. Keep up the hard work and let's not only learn about English but also about each other!						